

WR : オルガニズムの神秘 (1971)

WR: MYSTERIES OF ORGANISM

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 西ドイツ/ユーゴ

色彩 Color

時間 87分

初公開日 1989/04/29

公開情報 コムストック

【解説】

目を疑うような奇妙な現実を突きつけられしどろもどろするうち、とてもポジティブな気持ちで、この映画のフィクション部分を受け止めていた。WRことウィルヘルム・ライヒはオーストリアの性科学者でナチに追われ、アメリカに亡命。“個人の肉体的解放のない所に社会の真の解放はない”と唱え、そこでも白眼視された。折しも赤狩りの時代。かつて共産党に関係し、ソ連に招かれたことを理由に、この破天荒な宇宙エネルギーと性革命の理論は曲解され、著書は発禁、彼自身も入獄、そのまま還らぬ人となった。60年代後半になり、ようやくヒッピーや新左翼層を中心に親しまれ、彼の思想は一般に流布するようになる。そうした現代のレポートに先述のドラマ（と言っても彼の理論を実践しようとする女性のえせドキュメント風なのだが）を投げ込んで、マカヴェイエフ一流のエロチックなイメージで綴じあわせていく。ライヒとマカヴェイエフ、この二大奇才を世界に認知させた強力な精力剤のような映画。

【クレジット】

監督 ドウシャン・マカヴェイエフ Dusan Makavejev

脚本 ドウシャン・マカヴェイエフ Dusan Makavejev

撮影 ペガ・ポポヴィッチ

アレクサンダル・ペトコヴィッチ Aleksandar Petkovic

音楽 ボヤナ・マカヴェイエフ

出演 ミナレ・トラビッチ

ヤゴダ・カロペル